

子ども医療費助成

「助成年齢引き上げて」の願いにこたえ 今年10月より 小学校卒業まで助成が実現!

近隣市町村の助成状況 [2015.7現在]

◆通院・入院 中学校卒業まで 富田林市・河内長野市・大阪狭山市 太子町・河南町・千早赤坂村
◆通院小学校卒業・入院中学校卒業まで 藤井寺市
◆通院・入院小学校卒業まで 松原市
◆通院小学校3年生・入院小学校卒業まで 羽曳野市

この間、左図のとおり、近隣市に比べ子ども医療費助成が遅れていることから、「せめて近隣市並みに助成年齢を引き上げてほしい」との願いが、議会に届けられてきました。

市長は、この間、請願が寄せられたことや近

隣市より劣っていることなどの理由を述べ、今年10月より、通院も小学校卒業まで助成を引き上げる条例を提出しました。

この条例は、全会一致で可決しました。

まさに市民の声が市政を動かした結果です。

市長 来年4月より中学校卒業までの助成を表明 妊婦健診助成も11万6840円に引き上げを表明

(国の示す基準額)

大阪府は

大阪府は、今年やっと子ども医療費助成の対象を、通院で小学校入学までに引き上げました。しかし、全国に比べると、大阪府の助成は大変遅れています。しかも、今回、所

得制限を設けたため、羽曳野への補助金は、試算すれば減額になるとのことです。大阪府に対し、所得制限の撤廃とさらなる年齢引き上げを求める必要があります。

子ども園

事業内容がわからないまま、すすめられる基本設計

「保育園と幼稚園は別の建物なの?」「名前は?」「乳児の保育は?」



高鷲幼稚園



島泉保育園



第2グラウンド

市の答弁

- 幼稚園・保育園それぞれの特色を生かし、特色ある教育、保育に取り組む
- 平成27年度に子ども未来室を立ち上げ、基本設計及び実施設計を実施していく中で、教育委員会とも協議しながら施設の内容や運営の問題などを整理していく。
- 時期をとらえて、保育園、幼稚園の現場の意見を確認するとともに、保護者や議会にも示していく。

問題点

- *市の答弁は議会や関係者の疑問に答えられないばかりか、全容も明らかにしていないこと
- *現場職員や保護者の意見や声も聞かず、子ども園事業が行政主導で行われていること
- *現在の幼稚園と保育園では、子どもたちの生活に大きな違いがあり、それを一緒にしようとするのに大変無理があること

日本共産党議員団の見解

基本設計がすすめられている中、市は早急に現場職員や保護者、議会などに「こども園」の事業内容を明らかにし意見や要望を聞くべきです。またどんな提案でも議論し検討を重ねる手順をふまなければ、良い施策はできません。今後この事業については充分議論し、検討を重ねる手順を踏むまで進めるべきではありません。

マイナンバー制度導入を盛り込んだ「市税条例の一部改正」に反対

年金情報が流出し社会問題となっている中、マイナンバー制度は「個人情報流出の危険」「国家が個人情報を預金まで把握する人権侵害」「当市でも2年間で1億6千万円の莫大な初期経費がかかる」などの理由で日本共産党議員団は反対しました。

日本共産党 羽曳野市会議員団 ご意見・ご要望 お気軽にお寄せください <http://www.jcp-habikino.net>



ひろせ公代

南恵我之荘 3-7-2

TEL 938-4701

FAX 同上



ささい喜世子

高鷲 6-8-4

TEL 931-1860

FAX 同上



嶋田たかし

学園前 4-3-21

TEL 958-5876

FAX 957-6262



若林 信一

西浦 1-7-6

TEL 958-1322

FAX 958-2624

(この議会報告ピラは、政務活動費の一部を使って作成しています)